

(様式1)

履 歴 書

フリガナ		男・女	生年月日 (年齢)	19〇〇年〇〇月〇〇日 (和暦**年) (満〇〇歳)	写真貼付欄 縦4cm×横3cm 上半身・正面
氏 名			本籍地 又は国籍		
フリガナ 現住所	(〒 ー) 電話 () ー E-mail				
学 歴					
年 月	事 項				
19**年**月 (昭和**年)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業 (学士 (教育学))				
19**年**月 (平成**年)	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 修了 (博士 (教育学))				
年 月	取得学位・称号、資格・免許				
19**年**月 (昭和**年)	……………				
19**年**月 (平成**年)	博士 (〇〇学) 〇〇大学「学位論文題目」				
職 歴					
年 月	事 項				
19**年**月 (平成**年)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 講師 (平成〇〇年3月まで)				
20**年**月 (平成**年)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 准教授 (平成〇〇年3月まで)				
20**年**月 (令和**年)	△△大学□□学部□□学科 教授 (現在に至る)				
	教職課程科目を担当予定の方で、教員審査適合者は記載してください。 【過去の課程認定委員会における教員審査 (単独担当「可」)】 〇〇概論 (平成〇〇年度、〇〇大学 准教授) 特別支援教育 (平成30年度、△△大学 准教授) <再課程認定>				
学会および社会における活動等					
現在所属している学会	日本〇〇学会、△△△学会、……………				
年 月	事 項				
20**年**月 (平成**年)	日本〇〇学会会員 (現在に至る)				
19**年**月 (平成**年)	全国〇〇協議会会員 (20**年**月 (平成**年) まで)				
19**年**月 (平成**年)	……………				
賞 罰					
年 月	事 項				
20**年**月 (平成**年)	日本〇〇学会 〇〇〇賞 受賞				
20**年**月 (平成**年)	……………				
上記のとおり相違ありません。					
(西暦のみ)	年	月	日	氏 名	Ⓜ

(注) 記入に際しては、別紙の「『履歴書』の記入に際しての留意点」をご参照ください。

神戸松蔭女子学院大学

「履歴書」の記入に際しての留意点

1. 「氏名」の欄については、旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記してください。
2. 「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、履歴書記載時における満年齢を記入してください。
※年月日は、西暦にて記入し、和暦を併記（年のみ）してください。
3. 「本籍地または国籍」は、日本国籍である場合は都道府県名を、外国籍である場合は国名を記入してください。
4. 「学歴」の欄について
 - (1) 大学もしくは高等専門学校またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科および専攻科を含む。）を有する場合は、これらの学歴（学位、称号を含む）をすべて記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。
なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - (2) 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - (3) 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。「取得学位・称号、資格・免許」および「職歴」の欄についても同様に扱ってください。
 - (4) 「年月」の欄は、西暦で記入し、和暦を併記（年のみ）してください。以下、「年月」を記載する欄については同様に扱ってください。
5. 「取得学位・称号、資格・免許」の欄について
 - (1) 授与された学位、称号のほか、医師、管理栄養士、教員、臨床心理士等の資格・免許を記入してください。この場合、登録番号も併記してください。外国における資格・免許にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - (2) 学位については、付記された専攻分野の名称および学位論文の題目を併記してください。
外国における学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。
6. 「職歴」の欄について
 - (1) すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む。）について在職期間が明確になるように記入するとともに、職名、地位等についても明記し、現職については「現在に至る」と記入してください。
 - (2) 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - (3) 大学教員の職歴については、職位等のほか、主な担当授業科目を併記してください。
 - (4) 過去10年以内の教職課程認定委員会における教員審査で、単独担当*「可」の方は、当該審査に係る審査年度・大学・職名及び担当授業科目名を記載してください。
（※クラス分けにより担当する科目で、各クラスを単独で担当する場合も含む。）
 - (5) 過去における大学院の教員組織審査において、教員の資格があると認められている場合には、当該審査に係る審査年度・大学・職名及び担当授業科目名（判定結果を含む）を記入してください。
7. 「学会および社会における活動等」の欄について
 - (1) 「現在所属している学会」には、履歴書記載時に所属している学会の名称を正確に記入してください。
 - (2) 学会および社会における活動等のうち、本人の専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
 - (3) 教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入してください。
8. 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
9. 氏名は自署の上、押印をお願いいたします。

以上